

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP S1-23	研究期間	2028年12月末まで
研究課題名	日本人コホート多施設共同プロジェクトへの参加		
研究責任者（所属）	村上義孝（東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野）		
放影研での研究責任者	立川佳美（放射線影響研究所）		
試料・情報の利用目的及び 利用方法	<p>利用目的：</p> <p>放影研ではこれまで、原爆被爆者の皆様のご協力により、60年以上にわたる膨大な疫学・臨床情報が蓄積されてきました。これらは原爆被爆者の皆様のみならず、すべての人々の保健の向上に役立てることができる貴重なものです。この研究の目的は、原爆被爆者の皆様から得られた疫学・臨床情報と被爆者以外の日本を代表する複数の機関（以下共同研究機関）からの情報を合わせて検討することにより、循環器疾患などの生活習慣病（高血圧、脂質異常症、糖尿病、心筋梗塞、脳卒中など）の予防のための対策に役立つ情報を得ることを目的としています。</p> <p>利用方法：</p> <p>放影研で行われている健診調査（成人健康調査）に参加されている方々から取得された診断・血液検査結果などの臨床情報、喫煙歴などの疫学情報、ならびに死亡情報を放影研以外の共同研究機関からの情報とあわせて解析するために、情報を外部機関（滋賀医科大学ならびに東邦大学）に提供します。提供する情報は放影研で氏名・住所などの個人情報を削除後に提供します。統計解析は滋賀医科大学ならびに東邦大学のみで実施し、その他の共同研究機関へのデータの提供、解析の実施は行いません。滋賀医科大学ならびに東邦大学以外の共同研究機関の解析担当者が解析を行う際は、滋賀医科大学に赴いて、統計解析を実施します。</p>		
他の機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 提供先機関名：滋賀医科大学ならびに東邦大学 <input type="checkbox"/> 無		
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	● 情報 1) 人口動態統計に基づく死亡情報：		

<p>(提供する試料・情報の取得の方法)</p>	<p>死因、死亡年月、死亡時年齢（誕生日と死亡日から算出）</p> <p>2) 対面調査に基づく放射線被ばく情報： 100 mGy 以上あるいは 100 mGy 未満の 2 値</p> <p>3) 成人健康調査（RP2-75）で取得した情報： 性別、健診年月、年齢、血圧、身長、体重、肥満度指数、血液検査結果情報（白血球数、ヘモグロビン値、肝臓・腎臓・脂質・糖・尿酸検査値）、尿検査情報、各種疾患情報（診断名、治療の有無など）、生活習慣に関する情報（喫煙歴、飲酒歴）</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>放射線影響研究所 立川佳美 山田美智子 大石和佳 坂田 律 東邦大学 村上義孝 その他共同研究機関の解析担当者 共同研究機関 北海道大学大学院医学研究院 札幌医科大学医学部 岩手医科大学医学部 東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野 金沢医科大学医学部 自治医科大学情報センター、 慶応義塾大学医学部 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 筑波大学医学医療系 名古屋大学大学院医学系研究科 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学・NCD 疫学研究センター 国立循環器病研究センター健診部 大阪健康安全基盤研究所、 九州大学大学院医学研究院</p>
<p>試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>村上義孝（東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野） 三浦克之（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学・NCD 疫学研究センター） 立川佳美（放射線影響研究所臨床研究部）</p>
<p>統括個人情報保護管理者</p>	<p>放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀</p>

問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：立川佳美 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131</p>
--------	--